

## 2023 年度日本菌学会菌類観察会（秋田フォーレ）のお知らせ

実行委員長 村口 元

2023 年度の日本菌学会菌類観察会を下記の通り行いますのでご参加ください。

今回のフォーレは、秋田県で1泊2日の日程で行います。観察地は田沢湖に近い休暇村乳頭温泉郷のキャンプ場と空吹湿原の2地点を予定しております。どちらもブナ、ミズナラなどの広葉樹林です。秋田きのこの会で、ここ数年、下見を兼ねて観察会を行なってきましたが、観察時期によってかなり違う種類のきのこが発生します。観察会前の天候の推移によって、きのこの種類は変わってくると予想され、どんなきのこが観察できるかは当日になってみないと分かりません。これまで観察できたきのこの写真のいくつかを秋田フォーレお知らせサイト (<https://sites.google.com/view/akita-foray/>) に載せておきますのでご覧ください。

日本の奥座敷、秋田の秘境に広がる菌類の世界をどうぞ満喫してください。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**開催期間：**2023 年 9 月 30 日(土)～10 月 1 日(日)

**観 察 地：**A コース：休暇村乳頭温泉郷キャンプ場（秋田県仙北市）

B コース：休暇村乳頭温泉郷空吹湿原（秋田県仙北市）

**受付・講演会・説明会・交流会場：**

セルリアンリゾート AONI（秋田県仙北市）

（旧：田沢湖高原リゾートホテル ニュースカイ）

**同定会場：**同上

**宿泊施設：**同上（〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字下高野 73-13、TEL 0187-46-2006）

田沢湖駅から、路線バスにて水沢温泉郷バス停（ホテルそば）まで約 30 分です。

**募集人数：**60 名（定員になり次第締め切ります）

**参加費：**6,000 円、学生（大学院生以下）3,000 円（観察会バス代 及び 昼食代を含む、事前振込）

**交流会費：**2,000 円（事前振込）

**宿泊費：**1 泊 15,000 円（シングルはありません、2～5 名の相部屋となります。事前振込）

**申込期限：**2023 年 7 月 31 日（月）

**申込方法：**以下に示す 구글フォーム にご記入・送信いただくか、参加申込書（別紙）にご記入いただき、下記申込先の住所宛に郵送してください。

(1) 구글フォーム URL：<https://forms.gle/diXLyfrAavpB7Wq46>

※日本菌学会ホームページ（新着情報）のリンクもご利用ください。

(2) 郵 送：〒515-2343 三重県松阪市小阿坂町 4038-2 谷口 雅仁 宛

**申込完了：**参加申込書受理の連絡があり、参加費等の入金が確認された時点で申込が完了となります。

**日 程（予定）：**

9 月 30 日（土）

14:00～ 参加者受付

15:00～ 開会式・講演会

17:45～19:00 夕食（時間差で 2ヶ所に分かれます）

19:15～21:00 交流会（ダイニングホールで立食形式となります）

10月1日(日)

7:45～ 8:30 朝食  
8:45～ 集合, 記念撮影  
9:00～ 観察地へ出発(45人乗バス1台及び自家用車)  
9:20～ 乳頭キャンプ場着  
9:30～ 乳頭温泉郷休暇村着  
12:00～ 乳頭温泉休暇村発～乳頭キャンプ場発～  
12:30～ ホテル帰着後昼食(カレーライス, レストランのみで交代で食べます)  
持ち帰ったキノコ類は1Fダイニングホールで同定票などを記入  
13:00～ 同定開始(2F多目的ホールで16:00迄)  
16:30～ 閉会式(2F多目的ホール)  
17:00～ 解散

### 申し込みの際のご注意

- ・グーグルフォームでお申し込みの場合は、メールアドレスを必ずご記入ください。参加者への連絡に使用させていただきます。
- ・生年月日・性別は、保険の申込み及び部屋割りに必要な情報ですので、必ずご記入ください。
- ・連絡先が勤務先の場合は、会社名・所属部署名等の記入をお願いします。
- ・携帯電話番号は、観察会参加時に使用するものをご記入ください。非常時の緊急連絡用などに使用します。
- ・食べ物でアレルギーがある場合は、その食材とアレルギーの程度についてご記入ください。ただし、食材によっては除去などの対応ができない場合もございます。
- ・やむを得ずキャンセルされる場合は、下記の問い合わせ先まで速やかにご連絡ください。参加費・交流会費とも、直前の場合はキャンセル料が発生します。宿泊料は前日から80%のキャンセル料が発生します。
- ・日帰り参加の場合も、参加申込書の提出が必要です。
- ・観察地へは原則としてバスにより移動する都合上、申込時に希望されるコースをお伺いいたしますが、ご希望に添えない場合があることを予めご了承ください。

### 前泊・後泊について

前泊・後泊については各自で予約等の対応をお願い致します。

セルリアンリゾート AONI を前後泊でご利用の場合、1人部屋(ツインを1人利用)が1泊夕朝食付き 15,650円(諸税込)、1部屋を定員(2～6名)で利用する場合が1泊夕朝食付き 12,650円(諸税込)となります。

※予約時に菌類観察会参加者であることをお申し出ください。

### 共催団体

秋田県立大学, 秋田きのこの会, 日本菌学会東北支部, 青森県きのこの会, 仙台キノコ同好会, 菌類懇話会

### 実行委員(50音順)

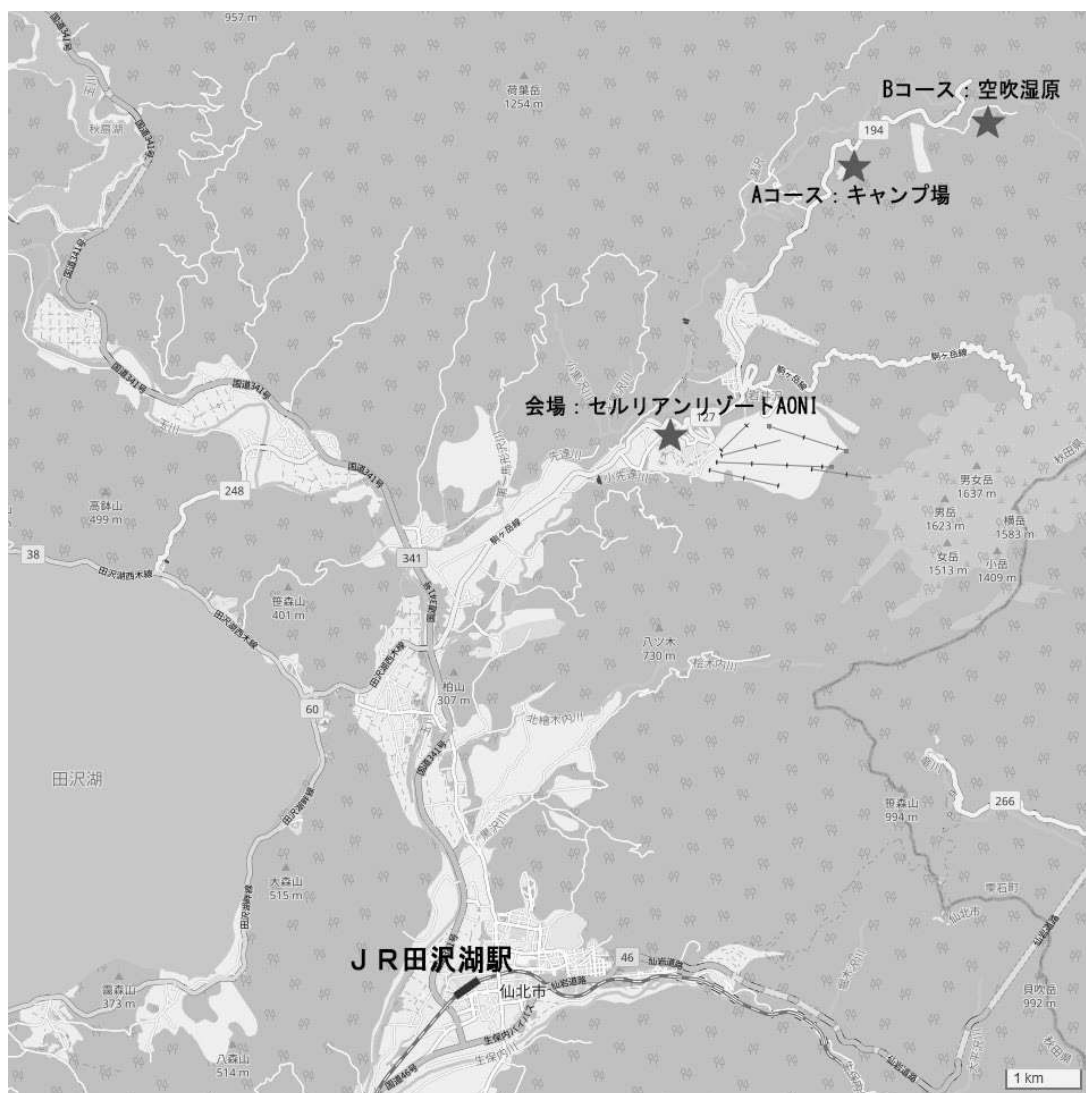
安藤洋子, 糟谷大河, 小林徹, 小山明人, 菅原冬樹, 田中誠, 谷口雅仁, 種山裕一, 名部みち代, 野村千枝, 服部力, 原光二郎, 平野達也, 保坂健太郎, 星野保, 細矢剛, 松井英幸, 村口元(実行委員長)

### 問い合わせ先

小林 徹 ([koba8332\(アットマーク\)amber.plala.or.jp](mailto:koba8332@amber.plala.or.jp)), 谷口 雅仁 ([gajin\(アットマーク\)mctv.ne.jp](mailto:gajin@mctv.ne.jp)), 名部みち代 ([forest\(アットマーク\)phoenix-foundation.jp](mailto:forest@phoenix-foundation.jp))

## 会場へのアクセス

J R田沢湖駅から、路線バスにて水沢温泉郷バス停（会場そば）まで約30分です。



会場・観察地の全体図（OpenStreetMapより改変）

## URL リンク

### ■秋田フォーレお知らせサイト

<https://sites.google.com/view/akita-foray/>

### ■参加申込書（グーグルフォーム）

<https://forms.gle/diXLyfrAavpB7Wq46>

### ■セルリアンリゾート AONI

<https://cerulean-aoni.com/>

### ■田沢湖駅前バス時刻表（ジョルダン）

<https://www.jorudan.co.jp/bus/rosen/timetable/%E7%94%B0%E6%B2%A2%E6%B9%96%E9%A7%85%E5%89%8D%E3%80%94%E7%BE%BD%E5%BE%8C%E4%BA%A4%E9%80%9A%E3%80%95/%E4%B9%B3%E9%A0%AD%E7%B7%9A/%E5%95%86%E5%B7%A5%E4%BC%9A%E9%A4%A8%E5%89%8D/?Ddd=30&Dym=202309>

## 観察コースの概要

### Aコース：休暇村乳頭温泉郷キャンプ場

乳頭温泉郷の入り口付近にあるブナ二次林に囲まれた静かなキャンプ場周辺です。キャンプ場には、フリーサイト、AC電源付オートキャンプサイトがあり、売店やコインシャワー、コインランドリー、トイレも整備されています。標高700mに位置し、秋田駒ヶ岳や乳頭山への登山の拠点としても最適で、自由に散策できるように遊歩道が整備されています。この一帯のブナ林は、約80年前に大部分のブナの木が伐採されましたが、その際、ある程度の割合で残された樹齢200～300年前後のマザーツリーから自然に種が落ちて一斉に成長した同じ年齢のブナが綺麗に林立しているのが特徴です。観察は、遊歩道周辺の広大な林内を自由に散策していただけます。比較的平坦な地形で、運が良ければ妖艶なアケボノサクラシメジや比較的珍しいセンニシタケ、ブナ伐根から発生するカエントケなどが観察できます。チシマザサ等の下層植物も少ないため比較的歩きやすい反面、倒木が少なく腐生性きのこというよりはブナと共生する菌根性きのこの観察に適したコースです。



キャンプ場内と遊歩道周辺（休暇村乳頭温泉郷及び仙北市ホームページより）

### Bコース：休暇村乳頭温泉郷空吹湿原

休暇村乳頭温泉郷手前の旧乳頭スキー場駐車場から、黄葉初期のブナ二次林内の遊歩道を歩き、標890mの空吹湿原を経て標高840mの黒湯温泉に向かい、旧乳頭スキー場駐車場に戻る約4km、ゆっくり歩いて約60分の周遊コースです。黒湯温泉は、古くは秋田藩の湯治場で鶴の湯温泉に次ぐ歴史があり、ここの黒たまごを1個食べると寿命が1年延びると言われています。このコースの植生は、ブナを主体としたミズナラ、ハリギリ、ホオノキ、トチノキ、ベニイタヤ、ハウチワカエデ、ナナカマド、ガマズミ、オオカメノキ、リョウブ、オオバクロモジなどの落葉広葉樹から成ります。途中、湿原のお花畑、硫化水素の臭いがする温泉噴気孔の周辺に分布するイオウゴケ（地衣類）や硫化水素の影響で木の肌が白色となったブナを観察することができます。運が良ければ、その色調に魅了されるムラサキヤマドリタケやタマゴタケ、ブナ林で見られるブナノシラユキタケ、エゾハリタケなどに出会えるかもしれません。



ブナ二次林を抜け空吹湿原から黒湯温泉へ

(2021.7 トランベール及びあきた森づくりサポートセンター総合情報センターホームページより)